



成が輸入して販売している。認証取得と合わせて同社では全日本空手道連盟の年間サポートに登録。20年の東京五輪に正式採用された空手競技の普及と選手強化にも貢献する。

**JOGMEC**  
ニュース・ブック  
石油天然ガス・  
金属鉱物資源機構

インドネシア：Inalum、西カリマンタン州  
アルミナ工場2020年までに商業生産開始

2018年8月20日付地元メディアによると、国営アルミ・鉱業持株会社Inalum(PT Indonesia Asahan Aluminium)は、西カリマンタン州Mempawahで中国投資家と共同で開発しているスメルターグレードアルミナ(SGA)工場において、2020年までに商業生産を開始する。さらに同社は、北カリマンタン州Tana h Kuning国際産業港湾区域でアルミニウムクラスターの開発も手がけており、2025年までに100万トン/年のアルミニウム生産を達成し、世界クラスの企業になることを目標としている。

(2018年8月28日 ジャカルタ 南博志)

インドネシア：製錬所建設の進捗状況報告義務を怠った4社の輸出許可を一時停止

2018年8月18日付地元メディアによると、エネルギー・鉱物資源省は、国内製錬所建設に関する進捗状況報告義務を怠ったニッケル鉱業会社3社及びボーキサイト鉱業会社1社の輸出許可を、一時的に取り消した。取り消された会社は、ニッケルはPT Surya Sagara Utama、PT Modern Cahaya Makmur及びPT Integra Mining Nusantara、ボーキサイトはPT Lubindo Nusa Persadaである。これにより、減少する輸出割当量は低品位ニッケル鉱石422万wmトン、洗浄工程後ボーキサイトは150万wmトンである。4社は、四半期毎に義務付けられている製錬所建設進捗状況報告を2期連続で提出しなかった。

なお、低品位ニッケル鉱石及び洗浄工程後ポーキサイトの輸出許可は、6カ月毎に実施する製錬所建設進捗状況評価において各期中の計画達成度が90%を下回った場合には、輸出許可停止や罰金支払い等の制裁を科されることが規定されている。

(2018年8月28日 ジャカルタ 南博志)

一方、コジャワシン銅山の生産は4・1%増の4万5400トントだ。た。  
後はナショナルチームの合宿や指導者研修会などに使用される予定となつてゐる。

「プロ・ゲーム」は古河電工子会社の獨特セレンが製造。2008年に世界空手連盟から認定を取得している。今回日本連盟から公式認定を取得し、今後は国内の公式試合で

8月のチリ銅生産  
7%減、46万2000トン  
チリ銅委員会（コチルコ）は、8月の同国  
の銅生産量が46万2千  
トと、前年同月比7%  
減少したと明らかにし  
た。チリ銅公団（コヂ  
ルコ）とエスコンディ  
ダ銅山の生産減少が  
要因。

アクシオムは2015年、サンホルへ事業で500万豪ドルの資金を調達し、鉱山の建設で最大1千万豪ドルの融資を受ける契約を結んだが、この契約が期限切れとなつた。同社は、ソロモン諸島政府から最近、炭鉱権が供与されたことを受け、複数の企業が契約に関心を示したと指摘。現在、長期供給に関する交渉の最終段階にあると説明した。

ている。一方Ismodesエネルギー鉱山大臣は、本プロジェクトからは年間に銅精鉱100,000トン、銅カソード58,000トンが生産される見通しのほか、操業に淡水化海水を利用するプロジェクトとしては国内で2番目の案件であることに言及した。

(2018年9月14日 リマ 栗原健一)

ザンビア：政府、財政赤字縮小のため鉱業税の引き上げを検討している可能性有り

2018年9月6日付けのメディア報道によると、2019年の財政赤字を縮小するため、政府は鉱業税の引き上げを検討している可能性がある。2018年8月にザンビア財務省が発表し2019～2021年までの中期支出枠組み(Medium Term Expenditure Framework=MTEF)によると、財政赤字のGDP比を2018年の7.4%から2019年には6.5%に減らすことを目標にしており、2019年の総収入を前年比14%増の490億ZMK(48億ドル)に設定している。収入源となる鉱業ロイヤルティからの収入は2019年に前年比23%増の44億ZMK、鉱業利益税は前年比27%増の25億ZMKになることを見込んでおり、報道では政府が鉱業ロイヤルティの引き上げを検討している可能性が高いと指摘されている。

18年9月12日 ロンドン ガボロフヌキ真幸

## 一：政府、Mina Justa銅プロジェクト設開始を発表

9月10日付け地元各紙によると、Vizcarra大  
は9月10日、大統領府において、Marcobre社のO  
z社長、Ismodesエネルギー鉱山大臣、Oliva経  
務大臣と共に、Mina Justa銅プロジェクト(Ica  
州)建設開始を発表した。大統領は、1,600mドル  
が計画されているMina Justa銅プロジェクト  
エネルギー鉱山省が推進する計14,000mドルの  
プロジェクトの一環で、1カ月半前のQuellaveco  
プロジェクト開発決定に続き、ペルー経済の活性  
貢献するだろうと述べた。さらに本プロジェク  
設や開発により、影響エリア住民には医療や  
サービスがもたらされるとの見通しを示した。  
Ismodesエネルギー鉱山大臣は、本プロジェ  
クトの建設期間に4,000名、操業期間に1,000~  
名が雇用される旨明らかにしたほか、政府や  
エネルギー鉱山省はプロジェクト開発が滞りなく行  
うよう協力する責任があるとの考えを示した。  
obre社によれば、Mina Justa銅プロジェクト  
2020年第4四半期に生産を開始する予定となっ

シコ:豪Azure Minerals社、Oso Negro  
プロジェクトにおいて高品位多金属鉱化帯を捕捉

2018年9月5日付け地元紙の報道によると、豪Azure Minerals社は、同社がSonora州に保有するOso Negroプロジェクトにおいて高品位多金属鉱化帯を捕足し、もっとも優れている部分の品位はAg2,680ダラス/トン、Au100.5ダラス/トン、Zn10.4%、Pb6%と発表した。同プロジェクトは19世紀後半に探鉱、掘削が行われていた歴史的鉱山地域に位置しているが、このOso Negroでかつてボーリング調査や他の探鉱が行われたかは定かでないという。同社幹部は、同プロジェクトに関し、かつて他企業が興味を示さなかったが、その潜在性は高く非常に期待できるとしている。なお同社はOso Negroプロジェクトと隣接するEl Sahuaraoプロジェクトを合わせ1,275ダルを35,000ドルで買取った。

2018年9月12日 メキシコ 佐藤すみれ)